

平成28年度
事業報告書

学校法人御船学園
平成音楽大学

1. 法人の概要

1.1 法人と設置する学校

法人名 学校法人 御船学園
住 所 熊本県上益城郡御船町大字滝川字東原 1658 番地
学 校 平成音楽大学

1.2 沿革

昭和47(1972)年3月 学校法人御船学園設立認可
初代理事長に出田憲二就任

昭和47(1972)年4月 熊本音楽短期大学開学
音楽科（声楽専攻30人、器楽専攻30人）総定員120人
初代学長に出田憲二就任

昭和48(1973)年2月 第1回定期演奏会（於）熊本市市民会館
以後毎年開催、現在は『華麗なる音楽の祭典』として継続している。

昭和48(1973)年4月 教職課程開設
熊本音楽短期大学専攻科開設

昭和50(1975)年8月 運動場用地購入、平屋建寄宿舎落成

昭和51(1976)年4月 音楽科定員増員
（入学定員：声楽専攻30人、器楽専攻70人 総定員200人）

昭和51(1976)年7月 2号館校舎落成

昭和53(1978)年2月 女子寮5階建落成

昭和56(1981)年2月 体育館兼演奏ホール落成

昭和59(1981)年9月 3号館校舎落成

昭和60(1985)年1月 4号館校舎落成

昭和62(1987)年4月 阿蘇研修所建物落成

平成 9(1997)年9月 熊本音楽短期大学 25周年記念 ニューヨーク・カーネギーホール公演

平成11(1999)年3月 第1回九州音楽コンクールを開催

平成12(2000)年12月 音楽療法士（2種）：全国音楽療法士養成協議会認定

平成12(2000)年12月 阿蘇研修所を日本童謡館に譲渡

平成12(2000)年12月 平成音楽大学設置認可
音楽学部音楽学科教職課程認可（中学・高校一種免許（音楽））

平成13(2001)年4月 平成音楽大学開学
音楽学部音楽学科（入学定員100人）
初代学長に出田敬三就任

平成14(2002)年4月 音楽療法士（1種）；全国音楽療法士養成協議会認定

平成17(2005)年3月 音楽学部幼児音楽教育学科指定保育士養成施設指定

平成17(2005)年3月 音楽学部幼児音楽教育学科教員免許課程認可（幼稚園教諭一種免許状）
音楽専攻科教員免許課程認可（中学校教諭専修免許状(音楽)、高等学校教諭専修免許状(音楽)）

平成17(2005)年4月 音楽学部幼児音楽教育学科開設
（入学定員30人）開設、
音楽学科入学定員変更（100人→70人）
音楽専攻科（入学定員10人）開設

平成17(2005)年4月 学校法人御船学園理事長に出田敬三就任

平成18(2006)年7月 音楽棟（CREAM棟）落成

平成19(2007)年10月 集会場（コミュニティーセンター）落成

平成21(2009)年11月 音楽療法士（2種）；全国音楽療法士養成協議会認定

平成22(2010)年6月 韓国新羅大学校芸術学部との姉妹校提携

平成22(2010)年6月	熊本市キャンパス・サテライトステージ設置
平成22(2010)年10月	附属音楽教室開講
平成24(2012)年4月	「幼児音楽教育学科」を「こども学科」に名称変更
平成26(2014)年 4月	音楽学科「ミュージック・プロフェッショナル・コース」新設
平成26(2014)年 8月	平成音楽大学アート・イベント・プロジェクト新設
平成26(2014)年 10月	「肥後熊本異空間オペラ“魔笛”」上演
平成28(2016)年3月	女子寮を閉鎖
平成28(2016)年4月	平成28年熊本地震にて大規模な被災
平成28(2016)年6月	新駐車場を開設
平成29(2017)年4月	入学定員を変更
	音楽学科 70人→60人
	こども学科 30人→40人

1.3 建学の精神

(1) 本学の使命・目的

音楽文化を発信する人間形成

本学の前身・熊本音楽短期大学の建学は、昭和 46 (1971) 年に、「九州から音楽文化を発信させたい。九州に音楽大学を。」として立ち上がった、創立者出田憲二の熱い情熱と、その意に賛同して集まった先達の行動と思いに始まる。

建学者たちの問題意識は、「文化の重点が中央に偏在し、地方文化の発展が遅々としている」現状を打破するために、音楽文化を発信する人材を九州で育てることであった。

(2) 教育の基本理念

- ① 音楽芸術の真理の探究
- ② 創造性豊かな心を持つ人間育成
- ③ 地域社会の音楽文化の発展に寄与する人材育成
- ④ 福祉の進展に寄与する人材の育成

平成 13 (2001) 年、熊本音楽短期大学を四年制大学に改組して、九州唯一の四年制音楽単科大学を開設する当たり、上記の 4 点を、使命・目的実現のための基本理念として掲げた。

この 4 点は、学則第 2 条において「本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、音楽芸術の真理の探究と技術の練磨を教授研究し、創造性豊かな心を持つ人間形成を図る。もって人類の文化と福祉の進展に寄与する有為な人材の育成を目的とする。」というかたちで文章化している。

本学はこの 4 つの基本理念を「建学の精神」と位置づけている。

1.4 設置する学校・学部・学科等

平成音楽大学	音楽学部	音楽学科
		こども学科
	音楽専攻科	
	ミュージック・プロフェッショナル・コース	

(1) 音楽学科の目的

音楽芸術の学修を通じて情操を高め、「豊かな感受性」と「和の心」を涵養し、「想像力」と「健全な身体」を養成すると共に、本学が音楽文化の発信地となることを目指す。

(2) こども学科の目的

乳幼児期に音楽が与える感性、美的情操や心理的情緒等の効用につき専門的に教育・研究し、保育所や幼稚園において適時適切に音楽を提示できる保育士、幼稚教諭を育成す

る。

1.5 学生数(平成28年5月1日)

学部	学科	学年	定員	在籍数
音楽学部	音楽学科	1年	70	31
		2年	70	29
		3年	70	35
		4年	70	27
		計	280	122
	こども学科	1年	30	39
		2年	30	38
		3年	30	40
		4年	30	29
		計	120	146
学部生計			400	268
音楽専攻科				5
ミュージック・プロフェッショナル・コース				2
総計				277

1.6 役員の概要

理事長	出田 敬三
理事	岩田 尚子
	中村 晴治
	栗谷 利夫
	大島 紀雄
	亀井 万紀子
	中田 泉
	山田 隆彦
監事	沖田 昌史
	南 恵子

1.7 評議員の概要

出田 敬三	富永 若子
出田 節子	友永 和恵
福島 則義	別城 博士
大島 紀雄	岩山 恵美子
亀井 万紀子	亀井 裕子
森田 朋子	山田 隆彦
甲斐 田鶴子	浦上 仁史
池内 美代子	宇都 香織
柴田 寛	

1.8 教職員の概要

教授	准教授	専任講師	専任教員計
11人	4人	5人	20人

客員教授	14人
特別講師	4人
非常勤講師等	96人

専任職員	嘱託職員	兼務
------	------	----

18人	3人	5人
-----	----	----

2. 事業の概要

2.1 熊本地震

平成28年4月14日午後9時26分(前震)と16日午前1時25分(本震)及び数えきれない強い余震で、本学及び学生・教職員は甚大な被害を被った。

幸いにも関係者に人身被害はなかった。建物は大きく被災したが、教職員や関係者の献身的な努力で、大学教育のほとんどを計画どおり実施して卒業生を送り出すことができた。

前震のときは学内にまだ練習等で残っている学生もいたが、大学周辺に住む学生も含め、安否確認を素早く行って全員を安全な場所に避難させた。本震では、翌朝に対策本部を立ち上げて、それ以後学長のトップダウン体制のもと、次々と必要な決断をして未曾有の危機に対処し、5月16日にレッスン、23日には全授業を再開した。被災した学生へは経済的及び心理面の支援を行った。

建物は、1号館と2号館は修理不可能で解体。本館、演奏ホール(体育館)および合奏館も天井崩落や亀裂など大きな被害が出た。グラウンドに5室の仮設校舎を建設、演奏ホールに仮設図書館を設置、また旧第2寮の整備等で練習室を確保している。平成29年5月の時点でようやく再建の基本計画が出来つつある。今後、グループ補助金制度及び私学助成制度を活用して再建に取り組む。

2.2 教学の取組み

(1) 3つのポリシーの見直し

学校教育法施行規則第165条の2により、3つのポリシーの見直し・明確化を行い、学則に組み入れた。

(2) 文化芸術論

一流の演奏や舞台、芸術作品などを体験する、また本学主催の各種演奏会に出演または鑑賞する事によって、音楽家・教育者・社会人としての態度や精神を音楽大学の学生として習得することを目的として毎年授業として行っている「文化芸術論」を平成28年度も行った。

本学主催の演奏会出演・鑑賞や学内外の講師によるキャリア講座はもちろんの事、F.ジュリアーノ客員教授や出田りあ客員教授の公開レッスン、国府弘子客員教授によるジャズトリオ演奏会の鑑賞をはじめ、劇団四季「ウエストサイド・ストーリー」公演、ドイツカンマーフィルハーモニー(ヴァイオリン・ソリスト/榎本大進氏)演奏会の鑑賞など一流の演奏・舞台を経験させた。また、熊本出身の映画監督・行定勲氏の震災前の美しい熊本を舞台とした映画作品「うつくしいひと」の学内上映会も行い、幅広い芸術を対象とした。また、地震発生後の各々が行ったボランティア活動なども対象とした。

2.3 学生支援の取組み

(1) 奨学金制度

入学試験において成績優秀者に対して行う特待生制度と給付生制度のほか、在学生の成績優秀者に対する特別奨学生制度を実施した。これらは返済不要の本学園独自の奨学金制度として設置している。

(2) キャリア支援

学生がキャリアプランを意識するための支援講座として「文化芸術論」という科目の中で、キャリア講座を全学年に必須科目として実施した。「文化芸術論」は、文化、芸術、キャリアなどを学ぶ総合講座として全学一致で取り組んでいる。また、学生・就職課では学生に対して就職に向けた説明会や相談会を行い、就職状況をよりよいものとするための業務を行っている。(平成28年度の主な取り組み参照)

これまで1号館2階の就職資料室には就職に関する資料を掲示・設置し、情報をインタ

ーネットで検索するためのパソコンを設置していたが、平成28年4月の熊本地震により建物が被災したため体育館に場所を移して、学生が利用できる環境を作った。

【平成28年度の主な取り組み】

- ①全学年に進路希望調査を実施（4月）
- ②就職委員による学生への個人面談の実施（8月、11月）
- ③キャリア講座の実施
 - ・本学卒業生を含む2名の企業人による講座 社会人としての人との接し方
 - ・株式会社マイナビによる就職説明会
（エントリーシートの書き方、面接の受け方、就職までの流れ等）
- ④企業説明会の実施
 - ・カワイ音楽教室講師説明会（グレード試験についての説明を含む）
 - ・熊本県警察本部による就職説明会の実施（警察音楽隊についての説明を含む）
- ⑤ヤングハローワークによる個別面接指導
- ⑥教員採用試験説明会の実施
 - ・熊本県教員採用試験説明会
 - ・熊本市教員採用試験説明会
- ⑦教育支援ボランティアの推奨

(3) 学生サポート、メンタルケア等

相談室を設置して健全で快適な学生生活をサポートしている。専門のカウンセラーのほか専任教員3名がこの任にあたっている。年度初めにUPI（精神健康調査）を行ってそれぞれの学生に応じた対応をしている。また、気軽に色々なことを相談できる「学生支援センター」を設置し、さらにきめ細やかな対応ができるようになった。

(4) 熊本地震被災学生支援

熊本地震において被災した学生のうち、自宅または現在住んでいるアパート等が全壊、大規模半壊・半壊となった学生に対し、応急奨学生として支援金を支給した。

(5) 学生駐車場

地震前より第二グラウンドを整備し、学生専用の駐車場を新設した。幸いにも地震による影響はなく、平成28年6月より使用可能とした。これまでは学内に駐車し、飽和状態であったが解消された。約150台が駐車可能。

2.4 音楽活動

平成28年度は「平成音楽大学開学15周年記念・学園創立45周年記念プレイベント」として様々な演奏会等を企画していたが、4月に熊本地震により5月に予定していた第18回九州音楽コンクール受賞記念コンサートが使用会場の被災により中止となった。しかしながら地域社会の音楽文化の発展に寄与するという学園の目的を達成するため、会場や開催時期の変更をするなどして様々な活動を行った。被災して使用できなくなった熊本県立劇場から熊本テルサホールに会場を変更して6月29日に開催した「平成音楽大学プラスオーケストラ2016演奏会」は、被災後に熊本で行われた初の大きな演奏会となった。また、例年開催している学園祭を「平成音楽大学 音楽の日」として熊本市の桜の馬場 城彩苑において1日中、学生による演奏を披露した。

12月にはヨーロッパ音楽研修旅行も予定通り行い、ウィーン・モーツァルトハウスにて演奏を行った。

以下のとおりの行事を社会への音楽普及活動、学生への教育活動として行った。

■主催演奏会等

2016教員コンサート

平成28年6月7日（火）・8日（水）／平成音楽大学サテライトステージ

平成音楽大学プラスオーケストラ2016演奏会

平成28年6月29日（水）／熊本テルサホール

第12回ピアノフェスティバル

平成28年7月27日（水）／平成音楽大学サテライトステージ

2016 Heisei Music Festival

平成28年8月28日（日）／平成音楽大学サテライトステージ

出田りあ客員教授特別講座

平成28年10月19日（水）・11月21日／平成音楽大学

平成音楽大学・音楽の日

平成28年10月30日（日）／熊本市・桜の馬場 城彩苑

第7回サテライトステージコンサート

平成28年10月30日（日）／平成音楽大学サテライトステージ

平成音楽大学「2016華麗なる音楽の祭典」

平成28年12月8日（木）／熊本県立劇場コンサートホール

ヨーロッパ音楽研修旅行

平成28年12月23日～30日／ミュンヘン～ザルツブルグ～ウィーン
・12月27日ウィーン／モーツァルトハウス演奏

フィリップ・ジュジアーノ ピアノマスタークラス

平成29年1月17日（火）／平成音楽大学モーツァルトホール

こども学科ミュージックフェスティバル

平成29年1月28日（土）／鶴屋ホール

VOCALサロンコンサート Vol.10

平成29年2月7日（火）／平成音楽大学サテライトステージ

平成音楽大学 平成28年度卒業・修了演奏会

平成29年3月15日（水）／平成音楽大学サテライトステージ

■附属機関演奏会・協力演奏会等

熊本オペラ芸術協会「2016サマー・オペラフェスティバル」

平成28年9月24日（土）／平成音楽大学サテライトステージ

ドイツカンマーフィルハーモニー演奏会

平成28年12月1日（木）／熊本県立劇場コンサートホール
ヴァイオリンソリスト／榎本大進

劇団四季「ウエストサイド・ストーリー」公演

平成28年12月16日（金）／熊本県立劇場演劇ホール

第6回チャレンジド（障がい者）ピアノコンサートin熊本

平成28年12月18日（土）／九州ルーテル学院 大学チャペル

第16回モーツァルト音楽祭 「伊東マンショ」

平成28年12月23日（金・祝）／宮崎県・サンA川南文化ホール

平成29年3月27日／ローマ・バチカン

作曲 出田敬三（学長・教授）

合唱・オーケストラ・ソプラノ独唱のための交響詩曲「伊東マンショ～時を超える祈り～」

音楽監修：馬込 勇教授

熊本オペラ芸術協会「2017ニューイヤー・オペラフェスティバル」

平成29年1月11日（水）／くまもと森都心プラザホール

平成音楽大学管楽ゾリステン

平成29年1月17日（火）／平成音楽大学サテライトステージ

平成音楽大学サクソフォンクラス第13回定期演奏会

平成29年1月27日（金）／熊本市・スタジオ ドラゴン

第13回平成音楽大学打楽器専攻生有志による打楽器アンサンブル

平成29年2月2日（木）／平成音楽大学演奏ホール

響和会フレッシュコンサート

平成29年2月5日（日）／平成音楽大学サテライトステージ

武蔵ヶ丘幼稚園「たのしいはっぴょうかい」

平成29年2月18日（土）／熊本県立劇場演劇ホール

平成音楽大学金管楽器専攻生有志による第13回ブラスアンサンブルの夕べ

平成29年3月4日（土）／熊本市国際交流会館ホール

第19回九州音楽コンクール

平成29年3月18日（土）・19日（日）・20日（月・祝）・25日（土）・26日（日）
／平成音楽大学サテライトステージ 他

2.5 社会貢献活動

音楽活動に限定することなく、広く文化活動や奉仕活動にも取り組んだ。

(1) 九州音楽コンクール

こどもたちに音楽活動の裾野を広げる。また大学生・社会人に対して演奏技術向上と評価を受ける機会を設ける。そしてそれぞれが受賞、評価を受けることにより音楽への向学心を高めることを目的として毎年開催している。熊本地震の影響により予定していた会場が使えなかったため、会場を変更し平成29年3月19・20日、25～29日の計7日間・3会場で第19回のコンクールを開催した。今回から文化庁の後援もいただき、中国やベトナム等、海外からも参加者を含め808名が参加した。

(2) 附属音楽教室

サテライトステージにおいて「みんなで楽しくやさしく歌う」講座を始めとする社会人向け、受験生向けの講座やレッスンを行った。平成28年度は「オカリナ教室」「音楽療法サロン」第二弾を開講予定であったが、地震の影響により開講できなかった。尚、従来の講座は5月中旬より順次再開した。

(3) 社会での奉仕活動（ボランティア）

- ◇ 熊本地震において御船町スポーツセンターに避難していた学生が、避難先でボランティアとしても活動を行い、被災者支援の一助を担うなど、各地の避難所で多数の学生が被災者支援のためボランティア活動を行った。
- ◇ 平成28年度も県内の90ほどの学校や企業などで組織する社会活動グループ「熊本いいくに会」では毎月の公園や学校のトイレ清掃、熊本暮らし人祭り「みずあかり」、火の国まつり打ち水大作戦、肥後花菖蒲株分けなど様々なボランティア活動を行った。
- ◇ 御船町の隣町である嘉島町の小学校・中学校において授業支援のボランティアにも多数参加した。
- ◇ 御船警察署から委嘱を受けた職員が青少年の補導活動や御船町青少年健全育成会議への参加を通じた貢献活動を行った。
- ◇ 御船町商工会、観光協会、文化協会、婦人会、ライオンズクラブ、そして本学をはじめとする教育関係による「がんばろう！御船！～心に響け～感動祭」に参加し、本学からはフルートアンサンブルによる演奏、そして地震前に結成してまだチーム名もついていなかった平成音楽大学よさこいサークルによる初の演舞を行った。このイベントには県内外から37団体、約500名のよさこいチームも参加し、御船町に元気を与えた。

(4) 小中学校・高校への協力との連携

毎年、御船高等学校芸術コース音楽専攻の生徒たちのレッスン、御船町立小坂小学校の歓迎遠足での本学の施設や音楽の提供、そして御船町の幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、大学が一緒となったイベント「御船町教育フォーラム」等を行ってきたが、平成28年度は熊本地震により各学校も被災したため中止となった。

2.6 さまざまな活動

(1) 教員免許更新講習

教員免許を持つ人たちに課せられた10年間の有効期限を更新するために必要となる教

員免許更新講習を平成28年度も実施した。選択領域4講座を文部科学省に申請し開設承認を受けた。8月22日～25日の4日間で各6時間の講習を実施し延べ146人に対して、現役で教員を続けていくために必要となる更新講習受講証明書を発行した。

(2) 大学コンソーシアム熊本

熊本県の高等教育機関14校と熊本県、熊本市とで組織する「大学コンソーシアム熊本」の一員として様々な活動を行った。活動内容は、各教員による研究者アーカイブへの登録、江津湖清掃活動への参加、おてもやん総踊りへの参加など多岐に及んだ。

また、組織内には教職員による各部会のほか、各校の学生たちが共同して社会活動を行うグループが設置されており、本学の学生たちも江津湖清掃活動や熊本暮らし人祭り「みずあかり」などの社会活動に参加した。

2.7 校地・校舎の状況

(1) 校地	増加分	減少分	従来所有分	現状
	0㎡		34,671.56㎡	35,833.56㎡ (内借用 1,162㎡)

(2) 校舎	増加分	減少分	従来所有分	現状
	0㎡	(注)	10,357.29㎡	10,624.10㎡ (内借用266.81㎡)

(注) 平成28年熊本地震で本学の校舎は甚大な被害を受け、1号館と2号館は撤去しなければならなかった。上記の表には、これによる減少面積を反映していない。

(3) 学生駐車場

学生用第二駐車場(約1800坪)を新設し、平成28年6月から供用を開始した。約150台が駐車できる。

2.8 入試・入学状況(平成29年4月入学者)

学科	志願	合格	入学
音楽学科	25	25	22
こども学科	35	35	31
学部計	60	60	53
音楽専攻科	3	3	3
ミュージック・プロフェッショナル・コース	4	4	4
その他、3年次(音楽学科)・2年次(こども学科)編入学が各1名。			

2.9 進路・就職状況(平成29年3月卒業者、5月1日現在)

学科	卒業	進学その他	就職希望 (就職活動中)	就職決定
音楽学科	19	8	11 (3)	8
こども学科	27	1	26 (2)	24
学部計	46	9	37 (5)	32

音楽学科 進学その他の内訳 進学6 留学希望1 就職希望なし1
こども学科 進学その他の内訳 就職希望なし1